磐城日日　昭和28年（1953年）12月22日（火曜日）　第1911号
「除〝暖〟」第三種郵便物認可　登録番号第684号

県議補選終盤で戦線混乱

社黨統一候補危し

保守兩者は食限爭奪

知事選、縣議補選は余すところ三日、終盤戦の様相は時間の短縮と共に熾烈の度を加速しているが、本社編集網のキャッチした縣議補選終盤からゴール寸前の戦況は社黨高萩不利説を傳えている

高萩氏をかつぎ出した常磐炭礦労働組合はその推薦祭次に四十九對四十五と云う數字を出しており、この推薦票の中には高萩ボイコット、イビリ出しの票も多分に含まるといい、本家常磐炭礦は年末爭議に精力を傾けている爲、充分な運動も期し難い有様である、また高萩当落のキャスチング・ヴオートを掘ると目された平地區共斗会議十七日は單組の都合で流会、選挙については各單組の自主的行動を申合せ、强力な高萩支持を流がして暗に添田候補の支持をホノめかし、この申合せによつて水素勞組などは「意添田、戸萩兩候補を組合員の自主性にまかせる」と云う異例の決定で消極的である

一方との打開策として事務長鈴井代議士は添田候補の引つ込め策に奔走全革新陣営の統一を策しているが、これも成算はたゝない

鈴木陣戦略

これに對して自由黨公認鈴木候補は〝親の七光り〟と公認の金看板で縣議通を總動員して頭株から下部にと中小商工業者、陸連協会長としてスポーツ關係者の票を中心に駒をすゝめ堂々の布陣をして自由黨石城の名を再確立したいところ

しかし與内派と目される黨内野黨一派は表面挙黨一致に見せながら内面それ程でもなく擧ら大竹知事候補の旗を担ぎ廻つている節も見られ、異端者（鈴木候補の例から）木田森陣の切り崩し工作に拍車をかけている

雪だるま戦法

木田守陣に齋藤晃氏

脱黨して立候補しその起れば已れの政治生命は長久に葬られると覺悟、必死の奮戦を展開、不利を轉じて追う者の強み充分、有利な戦いを進めている

作戦も頭より足をとトラックと小型に乘り換えて山間に駒を進め、地味に農村の票を集める一方、改進黨の支持を受け、また前代議士齋藤晃氏の應援を獲得、雪だるま式に票を集めている

共産増票か

共産黨添田候補は当選を度外視しても左派社会黨系の票を得て一萬票台の記錄をつくるのではないか結論的に年末の多忙、勞組等の消極的、一般に選擧熱の低調などの理由から投票率は六割台を或いは割るのではないかとも見られているが農村の出足さえ良ければ木田候補が支点と五千票の僅少の差で當選するのではないかと云う線が濃厚となつている

天氣豫報 21

「本日」北西の風、大体良い天気、山添いは一時しぐれ

「海上」うねり高く時々季節風が張く風波が高いと言うことだ

町長や知事らを決める基準について

―編集メモ的な主張―

風草二郎

即ちオジヤの出来そこないみたいな言葉を吐くと有象無象が一斉にアジャー〳〵を稱え馬鹿者が逸早く新語辭典に採擇する影響力を黙殺し、調子に乘つた企業屋は「とんこトンコ」と飽くことなく命儲けのみに〝まなこ〟を向け〝薇薔と拳銃〟の見境いなく恥も反省も忘れ果てているくせに高い壇の上に立つや、例外なく

「余輩文化人とその事業者は」と、粛くことだけは忘れた事がない

※

戦爭を、始めてミルクサイダーまで「牛乳炭酸水」と强引に呼ばせ、敗戦するや忽ち、団子、まんじゆうに至る迄御町寧に茶腕に盛つて「プリーズ・パン〳〵」と追從する

※

日本近世史以來編集子は不幸にして國民の魂をゆり動かした歌謡の生れたことを知らず、國民の血を湧かし眼を開け心を動かした映畫が出來た話を聞かぬ

これらの責は一体誰が負い、これらの義務は一体誰に課せられているのか

※

毛澤東先ず民族解放を叫び基本精神を示せば、趙樹理文藝に浪曲に映画に大衆を教導し〝白毛女〟生れて土地解放に四億の足並み揃い遂に究極の目的達成の自覚に立つた民族的洗脳が実を結ぶ

※

社民ク北鮮映画公開鑑賞を企画、第三回社会科学講座とする

〝郷土を護る人々〟は同時に國家を護る人民の精神である

〝白毛女〟國費に製作されて中共統一成り、〝郷土を護る〟映畫で人民共和國全的保證を與えて北鮮の前進がある

※

敢えて「赤化」と呼ばれる方向に進めというのでもなく、是に提灯を掲げるものでもない

編集子が眞に言いたいことは、日本の指導者とその保護者であるべき政治家という名の上は吉田首相から下は縣知事町村長に至るまで是等の人々が果して一貫した國是なり縣是、町村是を持つているかどうか？若し持つているならばその〝もの〟の実体が國家の國民の或いは地方の地方民の発展や福祉に役に立つかどうかシッカリと検討した上実施しているかどうか、

今次の知事縣議補選並にわが小名浜町長選挙にも編集子と本社は各候補者判斷の基準を此処に置くべきだと信じこの條件を備えたものを支持したいと思う一般大衆も亦そうすべきだと思つている

編集メモ

〝君の名は〟が放送劇で当てると、映画屋が忽ち眞似る

泣いてくれるな、と、ホロホロ鳥に甘い涙を誘えば、ミイハア族が眼の色変えて、愛染かつら大會に殺倒する

伴淳が「オジヤ」（飯の一種＝冷めしの更生体にして梅干隆言うところの底民ライス＝水分多くやらかき飯の名）

発行所　社団法人新聞日日磐城
福島縣小名浜町通廻51番
電話代表387番
編集兼発行人　一酵顧長

記者見習記者　若干名

問合不御日会面　附送通知　令和28年學歴

磐城日日新聞社人事課

X マスゼール

プレゼント用品―Xマスカード　入房具セット
アルバム鉛筆セット組筒　入紙
シャープ用箋封筆
スタンド筆類
萬年筆類―日記帳年鑑
繪具類―職員手帳
博文館日記
鉄道時報局時間日記
英文日記　学生日記　家計簿
其他　卓上日記　各種

泉 小泉屋
小名浜町　電話122

忘年會 新年宴會に

勉強とサービス本位の需寿司を是非御利用願います
大小宴会の御相談に應じます

割烹仕出し
貸席

小名濱町スカ町電十二

雷壽し

内科
小兒科

皮膚科
レントゲン

高木醫院

小名浜町定西五　電話四九九番

かぜとせきグスリ

素晴しい治療藥あり
せひ御相談下さい

マレー丰藥房

小名浜町西町電一一五

胃散界の王座を行く

強ラフトサン

一週間分百円

第二十一回
常陽幸運定期
十一月二日より一月十二日まで

銀座支店新設

御利用願います

小名浜町金庫

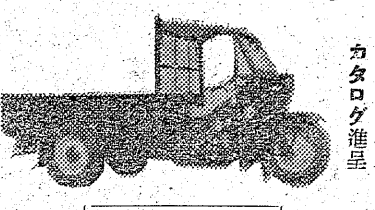
納税お取扱

つねに明るい
常陽銀行 小名浜支店

拾万台突破
新しい威力として大評判の
前進六段・後退二段装置式

ダイハツ号

カタログ進呈



御一報次第参上
月賦販賣御相談に應じます

―三輪車界の王者―

ダイハツ号　ツバサ号　富士ベビーランナー　代理店
小名浜町
宮下商會
モータース部
電話一九八番　四五九番

植田町歳末福引景品付連合大賣出し！

12月20日―31日迄

日頃のお愛顧に應えて……
植田町商工会の全店が一丸となり……
優良商品を破格で提供する上に素晴らしい福引景品を差上げ本年最大の御奉仕を致します

◇お買物は植田町商工会加盟店へ◇

植田町商工会

誰にも當る 景品

一等　砂糖　一俵（二〇本）
二等　醤油一升ウドン六〇把（二〇本）
三等　清酒一升　メリヤスシャツ上下
（六〇本）以下六等まだ空くじなし

昭和28年（1953年）12月22日（火曜日）　日日日日城攀　一九月廿四日仲秋、定

い吹く市制の象徴

小名濱廳舍を案内する

豪華な市長室・絶佳の展望

小名浜町新廳舍新築工事は石工、左官職など連日八十余名の職人が全力を注いで鋭意工事を進めており、日に日にその荘華な容姿が躍進する小名濱を象徴しつつ完成に近ずいている

廳舍落成式は去る十六日町議会委員長会議で三十日移転が三十一日と内定二十二日の町議會で正式に決定される

完成を急がれている新廳舍は既に外粧工事に最後の色揚げを待つばかりで内部工事も一階事務室は廊下も仕上り、磨き石張りのカウンター、白壁の色も初々しく町民を待てば、正面玄関脇には煉瓦壘の内に金庫がデンとしつらえられ、その脇に電話交換室を新設して現在迄の不便を一掃、二階は正面玄關が町長室、擴が

る小名浜全市街を一望されるバルコニー、優雅を型取った豪華な装飾と云う近き未来の市長室の主は誰となるか

その次に應接室、そして助役室と續き、小会議室から絢爛たるシャンデリヤまばゆく議事室と間取り、工事進行に伴ってその豪華さが二十世紀の息吹きを感じさせている

更らに屋上に登ればやがて近き将来この上に何階もの増築工事が施されて躍進小名浜と歩を共にするであろうが藤原川から湯の嶽山麓へと擴がる小名浜平野から遠く阿武隈の山脈につれ眼を轉ずれば日立銅山の煙りを霞ませて太平洋を眼下にする風光絶佳、名実共に新興小名浜を象徴する大廳舍である

是、非両論の対立は相當激しく明春四月から市制實施を、と意氣込む小名浜側の申込みは、期日的に無理ではないかという向きと早急に合併促進に強力な線で推進すべきだとする合併による市制希望者がおの〳〵自説を固持しているといわれ、小名浜市制の前途に悲喜交々の氣球を擧げている

植物研究で受賞

植田の蛭田教育長

教育八十周年記念式典は二十日平市第一小學校講堂に於いて盛大に擧行された

この晴れの日に表彰された植田町の榮えさる授賞者は永年勤續の舟生併佐美（植田小學校長）齋藤払（同校教諭）と成瀬巴三氏（町会議員）は社会教育の功労で、蛭田好一氏（教育長）は多年の特殊教育功労者として四名が各々表彰された

特殊教育功労賞は郡下にも蛭田教育長と平一中の鈴木光四郎氏（校長）の二人だけである

蛭田氏は現在福大物理學教室の嘱託として石城地方の植物、とん虫などについて研究活躍している人で、氏の研究資料は近く縣植物史として創刊される貴重な資料である、また氏は海草の研究家で研究に精進しており、戰時中の食糧不足期にはその研究を実踐、婦人會、青年会などの団体に呼びかけて野草料理の實習を各地に於いて実施好評を博したなお蛭田氏は現在シダの研究に全力を注いでおり近い将来には天然記念物したいと張切つている

贊否兩論が対立

小名浜町の申入れに泉側合併檢討懇談會

泉町では小名浜町からの合併申込みについて二十一日午前十一時から役場会議室で合併問題を検討するため各委員会出席の臨時懇談会を開いた

この内容は明らかでないが現在同町では相當愼重にこの問題に取組んでいるらしく、そのための会合も頻繁らしい

一部有志の言によると、一日立製作所勤務Ⅱは去る二日、植田保健所で檢診、檢便の結果眞性赤痢とわかり下川隔離病舎に収容されたがその後、長男厲（四四）さん、義妹すえ子（四〇）さんⅡ次男豊さん妻Ⅱが何れも六日、續いて前記ツルさんが十日と相次ぐ同家の赤痢發生に同町では集団發生かと江名町の事件を憂慮して附近一帶に早急な消毒、予防を施すなど一時は成行を危ぶまれ幸いその後蔓延の様子もなく十七日には廣、すえさんが全快、二十日昭さんとそれ〴〵無事退院したなお同町では植田保健所の協力で町民に二次、三次の檢便を行つている

泉町役場談Ⅱ一時は県團かと万全策に努力したが經過は良くもう殆ど心配する狀態も去つた、菌の經路や原因については昭さんはじめ同家の食物等を中心に保健所と協力調査中で昭さんが三日小名浜町某飲食店で夕食代り食べたうどんからではないかとの見方もある

出もどり

森下ひろし

「出もどり」と云う考え方、見方は是非打破してもらいたい、一人の人間の悲劇は、万人に考えさせられる問題を多々含んでいる、ところが人間はどう云うものかその世界を興味として娯しむ、人の事だから当然そうなのだろうが斯様な心情は人間的ではない、隣の娘が出もどつたとしても理由があるからで向いの娘も考えての事だろう、我々は自己を守ることには実に天才で、その立場を必死に擁護するが、こと他人のこととなると鮮かなほど掌を返し結果や成行を祕かに見物する、面白いのだ、まるで芝居でも見ているようなつもりでいるらしく又それを一つの語り草として日々の退屈をまぎらわしている

恥かしい限りだ、「出もどる」女性は恥を承知で親許に歸つてくる、たしかに親娘とも不名譽なことだ、世間に顔向けが出来ない氣持もうなずけるし、極端な表現だが死にも値いする

「出もどり」と云う考え方、見方は是非打破してもらいたい、一人の人間の悲劇は、万人に考えさせられる問題を多々含んでいる、ところが人間はどう云うものかその世界を興味として娯しむ、人の事だから当然そうなのだろうが斯様な心情は人間的ではない、隣の娘が出もどつたとしても理由があるからで向いの娘も考えての事だろう、我々は自己を守ることには実に天才で、その立場を必死に擁護するが、こと他人のこととなると鮮かなほど掌を返し結果や成行を祕かに見物する、面白いのだ、まるで芝居でも見ているようなつもりでいるらしく又それを一つの語り草として日々の退屈をまぎらわしている

恥かしい限りだ、「出もどる」女性は恥を承知で親許に歸つてくる、たしかに親娘とも不名譽なことだ、世間に顔向けが出来ない氣持もうなずけるし、極端な表現だが同家裁であつかつた總件数の三十七%の約一千二百件、これでも分るように如何に離婚が多いかがうかがわれ原因は夫の不貞、遺棄、虐待、浪費、病氣となつている、だが注目されたのはこの離婚の申立の半数が女性側（妻）から出されている事で男の專制を許さない時代の意識が物語られている、逆に男性側（夫）の申立は「自分に愛人が出来た」事にある、信じられないほど矛盾した話だ　これでは結婚がまくゆくわけがない

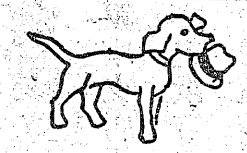
たとえ凡てを捧げた結婚であるにせよ〝妻〟として信頼を寄せたればこそで世間から見れば「傷もの」だろうが、永い一生をそんな裏切られた生活の中で送らなければならないと云うのは古い結論として「出もどり」は「傷もの」でなく「立派なおんな」として彼女らは將来をより深く愼重に見守つている結婚という大きな試練の門をくぐつて彼女らは成長した、その瞳は〝生きた女の眼〟であり「女の幸福が何處にあるか」を幸福の世界へ導くことは我々の共同の義務であるまして彼女らの不幸の一端は世間のあらゆるところに轉つている、殊に男の世界は彼等には失望の世界だ、信頼のおけない世界でもある、夢を砕かれた人間の絶望は苦るしい、その絶望が自らの種でなく他人から受けた結果だとしたら人間はあまりにもみじめだ

同様に彼女らの「出もどり」の原因が夫の不貞なられほど罪深い世界はなく男の素知らぬ表情を疑つてやりたい

要は女性のみが離婚の罪を一人背負わされ、女なるが故に世間の批判になるという女の立場は少くとも今日の時代では道理とされない、眞相は意外なほど男の責任にありその道義と專制にある

去る十三日だつたか亜細紙がとりあげた一家庭裁判所の今年（十一月三十一日現在）の離婚件数は同家裁であつかつた總件

皆様のお店です



クリスマスプレゼント
良い品揃ばれる品私共は常に皆様の御相談相手として待機しています

皆様の店
平マーケット
小名浜第二小学校前 電二七七

経費をかけずに良い品安く
多彩な献立と……
最高の味覚の……
当店へ是非……
杵家
小名濱町電話三〇六番

20～22日迄
同時上映
小名浜 キンセ 電六七〇

タツフリ楽しめる
立本三
長谷川一夫 浪人吹雪 笑いよし
サブージャグルの王 オール封切
エノケンの鞍馬天狗 新版上映中
情炎の女サロメ
續續魚河岸の石松

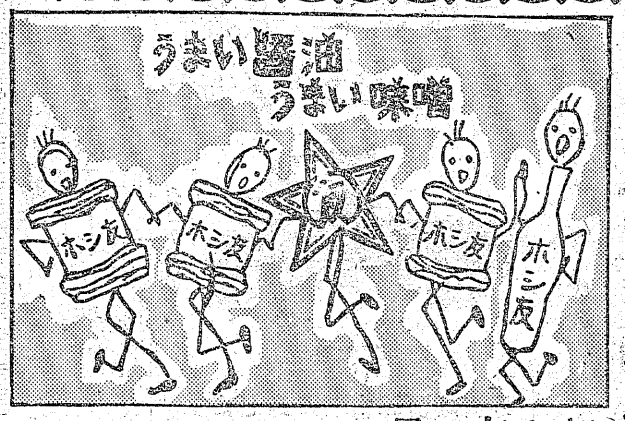
毎度御ひいき有難うございます
忘年會 新年會は……
多彩な献立と……
最高の味覚の……
当店へ是非……
杵家
小名濱町電話三〇六番

魚菜市況 21
（小名浜中央青果市場）
たまご二～二はくさい二〇～四五切いも八〇～一七〇大根一五～二三里いも三〇～七〇人じん一〇～六〇ばれいしよ六一～八〇ねぎ六八～九〇さつま四〇～五六牛蒡一三〇～三五〇丸大根一七～三五ほうれん草一五〇～一六〇たまな四〇～五八

佐藤さんち
ヨウ紅熱
十七日泉町大字玉露字道上三六農業佐藤トミさん四女京子（七才）ちゃんは附近の醫師の診断で猩紅熱と分り同夕刻下川隔離病舎に隔離、收容した
同家の食物にあるとの説も強い

落焼
すし
小名濱町電話三〇六番
杵家

映畫御招待賣出し
浜唯一のスポーツ専門店ノエが……
皆様に贈る〝クリスマスプレゼント〟
1,000円お買上げ毎に招待券（一枚）贈呈
200円お買上げ毎に補助券一枚進呈
…補助券5枚で招待券一枚交換…
15日より 26日迄
純毛ソックス 450～690
〃 手袋 400～800
高級皮手袋 1.000
純毛セーター類……
空氣銃SKB・マリン 6,300～13,000
お子様方には是非健全なスポーツ用品……
貴方に…そして君への贈物は近代感覺にマッチした
スポーテーな服装品を……
プログラム
1. 朝日スポーツニュース
2. 赤線地帯
3. 情炎の女サロメ
4. 續々魚河岸の石松
23日～26日
……小名浜本町……
スポーツの店……合資会社ノエ運動具店 TEL 315

うまい醤油 うまい味噌


ホシ友醤油株式會社 社長 星 友太郎

内科 外科 性病科
草野醫院
草野正平
小名浜町中島（電話局隣）
電話小名浜九九番